

まじまじと

④ 原園のコピトを懸写するためには原状に正確・明瞭を期してつとめた。

⑤ 元田部落の宅地の字名別の現住者

今、元田部落の各宅地には次のよき何方が現住なさっているか、その字名については、こんな方が誰よりもよく知っている。

字名	住者
字丸梅口	川野 矢
丸山	狩生 一二三
広瀬	市野瀬 保考
本田下	川野 康子 市野瀬 勝喜
本田	市野瀬 善之 市野瀬 昌大
クジブン	児玉 輝喜 市野瀬 豊喜
ヤ子ノ下	市野瀬 輝喜 市野瀬 功
塚バタ	市野瀬 一 市野瀬 賢男
野添	市野瀬 信
上ノ段	市野瀬 信
荒木	元市野瀬 直喜 市野瀬 水正行

⑥ 今回ご提示の資料については、赤生所助役市野瀬 信義氏のご協力をよったもので、謝意を表します。

(この項終り)

報告

佐伯市・南海部郡八ヶ所村 全域が対象の佐伯地域文化財保存会が発足しました。

すでに大部分の会員はご存知ですが、郡市全域にある史跡もよろもろの文化財、指定のあるなしにかかわらず、滅失から保存・保護をはかろうという運動です。三ヶ丸橋門保存会の後をうけて、これから文化財を守る運動に献身します。

高木会長以下 役員はほとんど史談会の役員で、史談会と同一体となって活動します。

会員皆さんの近くにある文化財を、愛護しよう。ご協力下さい。お見舞いのごことありませう。すむおしらせ下さい。(事務局 市野瀬 八)

報告

第十七回九州地区民俗芸能大会に出場して

黒沢・富尾神社神踊・杖踊保存会

山崎 作

この度皆様のご支援によりまして、当青山黒沢部落に四百年の昔からつたある、富尾神社に奉納している神踊と杖踊を、民俗芸能の大分県代表として、九州民俗芸能佐賀大会に出場することになりました。そこで保存会は盆後からしばしば練習を重ね、出場一か月前からはよく猛練習をいたしました。

大会は十月五日とときまり、私共の所は稽の取入れがちょうど重なり、しかまこの秋は雨が多く、まことに困った時期でありましたが、多田太郎吉会長以下全員二十四名一体となり、一人の欠員もなく元気に出場できました。ことは、まことによるこばしい次第でございます。

十月三日、前夜祭として青山小学校の講堂で、新調の装束をつけて最後の練習を行ない、広く村の方々に公開し、皆様の拍手をおびました。

翌四日朝七時、部落の方々多数の見送りを受け、総員二十四名、元氣よく佐賀県武雄市に向って出発致しました。途中無事、午後二時に武雄市に到着、先ず指定旅館に入り、しばらく休養をとり、午後四時会場の文化会館に行きました。この会館は今年の新築で、佐伯の文化会館よりずっと大きく、敷地面積は佐伯の三倍ぐらい、中にはいつて見ますと、舞台をはじめ各果の控室など雄大なものです。私共は控室でリハーサルの時間を待ちました。午後四時半から、本舞台で練習で、いくらかとまどうかと思いましたが、全員多田会長の指示にしがたかって

行動し、各県代表に負けず熱心に練習して、持時間四十分を充分活用して舞台ならしをいたしました。これで充分自信がつき、明日の本舞台で九州各県代表（佐賀は二チーム）九チーム中、何処にも負けずにゆれりと自信をもって宿に帰り、志気高揚のため夕食には一杯やって、氣勢をおげました。

あくる五日、芸能大会の本番です。朝七時起床、朝食

第十七回九州地区民俗芸能大会 出演順序

昭和五十年十月五日（佐賀県武雄市文化会館）

順時	間	出 演 芸 能 名	県 名
1	三〇分	開会式 文化庁長官あいさつ 出演団体へ感謝状贈呈	
2	三〇分	真手野の舞浮文	佐賀
3	二〇分	卯麦の盆踊り	長崎
4	二〇分	吉左右踊・太鼓踊	鹿児島
5	二〇分	神 踊・秋 踊	大分
6	二〇分	（休 憩）	
7	二〇分	太 祖 神 楽	福岡
8	一五分	宮古城辺所比嘉の二十日正月	沖縄
9	二〇分	尾八重神楽	宮崎
10	二〇分	大野下奴踊り	熊本
11	二〇分	母ヶ浦の西浮文	佐賀
12	五分	開会式	

後準備をととのえてから出かけました。午前十時、文化会館で開会式で始まりました。文化庁長官のあいさつがあり、つづいて出演団体に感謝状の贈呈があり、わが大分県は多田太郎吉会長が登壇して、感謝状を受けました。それから上記のように、佐賀県の舞浮文を皮切りに、長崎・鹿児島県の順にステージに登り、私共は第四番目、午前十一時半から二十分間の出演です。皆気持がわくわくしました。獅子舞から始まって、杖踊、神踊と四百年の歴史をもつ郷土の伝統芸能を、九州全域に披露の舞台です。練習は充分、みんなはりきって演技致しました。観覧席からは万雷の拍手、大成功の裡に幕となりました。私共はホッとして、他県の芸能を拝見しました。いづれもそれぞれ特色をもち良かったが、私共大分県のがなかなか評判がよく、大成功で、出演した甲斐があったと皆でよるこび合いました。

このように、九州沖縄各県の民俗芸能が競演されましたが、踊りあり、神楽あり、獅子舞・西浮文などさまざま、また郷土芸能が展開され、午後二時終了し開会式がありました。私共は番刈りのことが気になりますので、荷物さとりまどめそのまま駆け向かい、帰路につきました。思いますのは、私共は選ばれて民俗芸能の大会に出演し、優秀な成績で郷土の伝統芸能を披露しました。これはひとえに地元部落の方々の理解ある後援と、また関係官庁機関のご指導ご助成の賜ものであります。とくに佐伯地域文化財保存会から多額のご助成をいただきましたことと、佐伯史談会の方々から理解あるご声援のありましたことを、この紙面をお礼を申し上げます。以上ご協力いただきました皆さまに、敬意をこめてご報告いたします。

（おわり）